

大井田地域自治組織 地域自治推進計画書

1. 計画期間 令和3年度～令和5年度

2. 大井田地域の現状

(地域の特徴)

- ① 中心市街地に隣接する住宅街と農業振興地域が存在する地域
- ② 十日町市13地区全体でハザードマップ上災害が最も起こりにくい地域
「安全・安心で住みやすい地域」
- ③ 大井田同族会が設立されて20数年が経ちましたが、地域としてはその後「大井田の歴史を語る会」など年に1回開催し大井田の歴史を学んでいる。
- ④ 十日町市が地域自治組織の推進を上げている中で、コミュニティセンターの改築、地域自治活動に対しての人的支援、ボランティア団体との連携を支援するなど、コミュニティの活性化を図るため、自主防災、地域福祉、地域文化の保全、継承活動を支援する計画である。当地域は災害時の避難場所の不足と消防防災施設の整備が求められている。

3. 大井田地域の課題

- ① ここ半世紀の間、地場産業である織物業の衰退に伴い、当時10店舗相当あった商店が年々減り始め、ついには3年前に全商店が無くなった。できるだけ早く買い物難民を解消するため、知恵を出し合い努力を続ける。
- ② 安心・安全な地域づくり（災害時における二次避難所の不足）
- ③ 地区の東西を結ぶ幹線道路（市道四日町新田線）の早期整備
- ④ 旧給食センター解体後の利活用の検討・整備
- ⑤ 中学校の学区編成問題による、地域コミュニティの衰退
- ⑥ 今後1、2年の内に公民館のコミュニティ化が図られる。当地域もコミュニティ化に参加することによりセンターの管理が市当局の管理に移り活性化が図られることに期待する。

4. 大井田地域の将来像、目標

【将来像】

「歴史と文化にふれあい

安心して住み続けられる大井田地区をめざして」

※将来像を具現化するために以下の事項を重点目標とする。

- ① 地域の連携で、「安心・安全な地域コミュニティづくり」
- ② 大井田の郷公園の管理体制充実と整備

- ③ 公民館がコミュニティ化される中、地域の活性化を図るため新たに新事業を推進し、地域住民との連携を図る。

5. 大井田地域の3年間のキャッチフレーズ

「防災関連施設の改設と地域に根差すミニ産業の構築」

6. 大井田地域の基本方針

- ① 長い間の念願でありました旧給食センターの解体が出来ました。跡地利用について、地域消防防災設備の統合と防災設備の充実のため、老朽化した設備を解体し、新たに消防防災施設を建てる。
- ② 3年前、県の補助事業でサルナシ栽培事業が認められた。
この事業を進めることにより、収益を得て先ずは振興会運営費に充てたい。
将来的には休耕地に栽培を進め、多くの地区民からの参加を促し、活性化を図る。

7. 事業の実施計画

- ① 振興会傘下団体との連携をより強化し、地域自治組織の形成を図る。
- ② 地域要望等に基づく道路や住環境整備を図る。
- ③ 地域消防施設の老朽化と、統合による経費節減のためにも一昨年度より新たな施設を建てていただくよう要望している。
 - ・ 消防車庫・防災備品庫・集会室などを含む建物
 - ・ 災害時の避難場所の確保と整備
- ④ スモールビジネスの開拓としてサルナシ栽培を、新コミュニティ構想の中で、生涯学習振興事業に取り入れる。